

地域社会との共生を目指した 生物多様性保全活動

守山製造所内排水ピットの水中写真



旭化成株式会社 守山製造所

目次

1. 守山製造所について
2. 事業活動と生物多様性との関わり
3. 生物多様性保全活動の意義
4. 地域の水辺を守る排水管理
5. 水をテーマにした生物多様性保全活動
6. 水源地とその周辺に生息する生物の保全
7. つながりを活かした生物多様性保全活動
8. 地域社会との共生を目指して

守山製造所について

ハイポア工場

ポリエチレン微多孔膜（孔径：0.05～0.5μm）「Hipore」を製造



用途

・リチウムイオン2次電池用セパレーター

ロイカ工場

しなやかな伸びと回復性に優れたスパンデックス長繊維を製造



用途

・アウターウェア・インナー・レッグ・水着・スポーツウェア・オムツ資材

スパンボンド工場

旭化成独自技術のスパンボンド法による合織長繊維不織布を製造



用途

・使い捨てカイロ・オムツ用部材・土木用資材・自動車の内装 等

旭シユエーベル工場

世界最薄「厚さ10μm」の高機能ガラスクロスを製造



用途

・プリント配線盤（スマホ、パソコンの内部）等、エレクトロニクス分野

リチウムイオン二次電池のセパレーター、ポリウレタン弾性繊維、
スパンボンド不織布やガラスクロスの製造、これらの研究・開発を行う。

事業活動と生物多様性との関わり

“事業活動と水との関わり”

生態系サービスからの恩恵

全ての**工業用水**に

事業所内の**井戸**から汲み上げた **地下水** を利用

昔

3万トン／日

今



- 守山製造所の放流水は、農業用水に利用されている
- 工場ができて以来、守山製造所は地域の水源の役割を果たしている

生物多様性保全活動の意義

地域の生物多様性保全



環境管理の有効性をプラスに評価



従来の環境管理

法令違反・環境汚染事故

企業価値低下（減点式）

今後の環境管理

法令順守+生物多様性保全活動

企業価値向上（加点式）

地域社会



地域の水辺を守る排水管理

排水管理強化による法令順守・環境汚染事故防止

法令順守・汚染事故防止

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017

油流出ゼロPJ

排水管理の継続

排水トラブルゼロ化J

- 間接冷却水への油流出防止対策
- ・オイルミスト対策
 - ・油水分離槽整備
 - ・油膜検知器設置
 - ・油回収装置設置

- 監視装置の更新及び整備
- ・水質監視装置整備及び更新
 - ・製造所からびわ湖までの排水経路調査（製造所外への流出時の異常処置検討）

- 排水管理の評価結果に基づく排水管理のブラッシュアップ
- ・有害物質連続監視装置設置
 - ・緊急貯留ピット整備
 - ・異常処置基準見直
 - ・排水監視モニタリング一元化

2015年度から、排水管理のブラッシュアップとして、
排水トラブルゼロ化PJを開始

水をテーマにした生物多様性保全活動

ハリヨの写真（滋賀県立琵琶湖博物館；金尾主任学芸員）

“水源地とその周辺に生息する生物の保全”
絶滅の恐れがある淡水魚「ハリヨ」の保全



“つながりを活かした生物多様性保全活動”
滋賀県湖東地域の生物多様性保全を目指した「トンボ79大作戦」

水をテーマにした生物多様性保全活動

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017

これまで

- 排水管理による水の保全
- ・地域の農業と水辺を支える命の水
- ・世界一淡水魚に会える工場

- 自然観察会
- ・釣り観察会

これから

- 希少淡水魚（ハリヨ）の保全
- ・水源地に生息する生物の保全
- 湖東地域ネットワーク（トンボ79大作戦）
- ・つながりを活かした生物多様性保全活動

リスク管理



魚類調査

社会貢献



自然観察会

地域社会との共生



ハリヨ保全



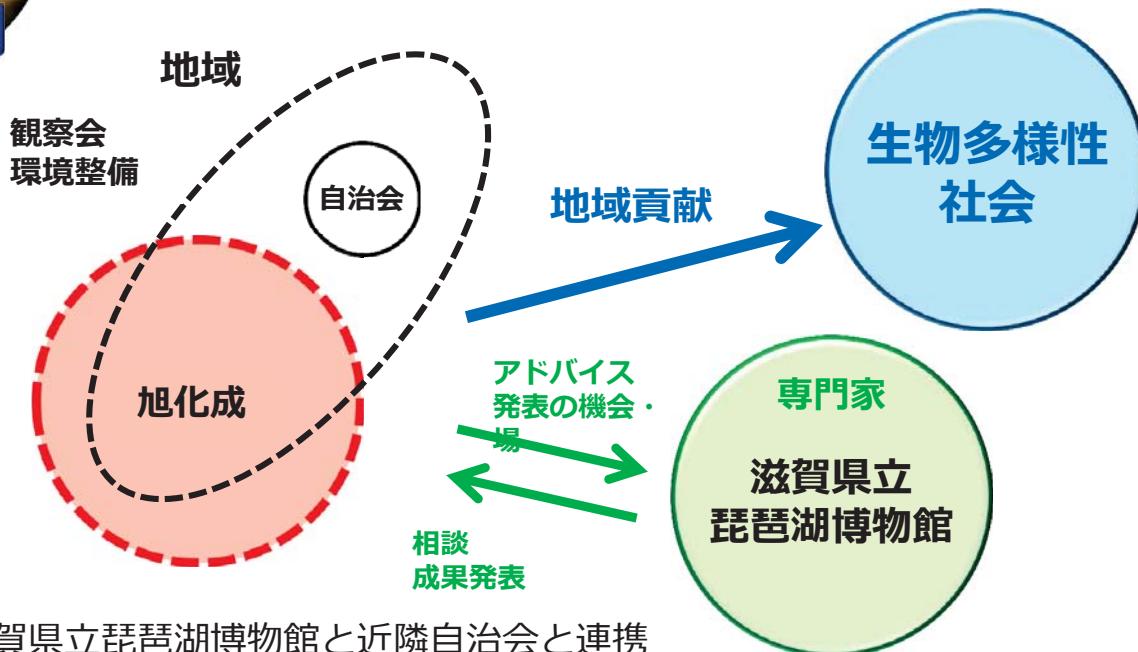
トンボ79大作戦



水源地とその周辺に生息する生物の保全



- 滋賀県と岐阜県の一部にのみ生息する絶滅の恐れのある淡水魚
- 夏場でも20℃を超えない湧水環境に生息する



水源地とその周辺に生息する生物の保全

ハリヨ (絶滅危惧種) の保全

- 従業員と地域住民が利用する歩道横の場内緑地に保全池を整備
- 保全池の整備にあたって、専門家や自治会とハリヨの生態を学ぶ勉強会を実施



水源地とその周辺に生息する生物の保全

ハリヨ（絶滅危惧種）の保全



- 琵琶湖博物館で展示されているハリヨの水槽サポーター登録
- 企業が取り組む生物多様性保全活動として新聞に掲載

水源地とその周辺に生息する生物の保全

【社会への発信】

いしかわ生物多様性フォーラム

- 生物多様性と企業の関わり

魚類自然史研究会

- 企業が取り組む希少淡水魚の保全

【社会からの評価】

文化・滋賀経済フォーラム

- **絶滅危惧種のハリヨを残そう文化賞受賞**

日本ビオトープ協会

- **環境活動推進賞受賞**



【専門家からの評価】

滋賀県立琵琶湖博物館主任学芸員 金尾博士

- 旭化成守山製造所の皆さんのがこのような絶滅危惧種の保全に関わり、実践することは、地域全体で生態系を保全・再生するための大きな一歩であり、かつ先進的な取り組みです。非常に価値ある活動であると考えられます。

つながりを活かした保全活動

目的

湖東地域の生物多様性を保全する

旭化成

旭化成住工

積水樹脂

ダイフク

生物多様性
湖東地域ネットワーク



- 多様な主体が繋がるプラットフォーム構築
- 生物多様性保全や地域貢献

つながりを活かした保全活動

トンボ79大作戦

湖東地域のトンボを救え！

水との関わりが深く滋賀県らしいトンボをテーマにした活動

作戦1

湖東地域の全トンボ79種を探そう！

まずはトンボ探しをして、自然と仲良くなりましょう。
身近な場所でトンボを通じて現状を知り、何が大切なのかを体験します。



作戦2

湖東地域のトンボを守ろう！

湖東地域にくらす希少なトンボやその生育環境を守ることで、他の生きものたちや自然を広くすることにつながります。



琵琶湖博物館での活動展示

作戦3

みんなに知らせよう！

自然の大切さや守ることの重要性をたくさんの人々に知らせ、地域の自然のことを少しでも考えるきっかけをつくります。



地域と協働のトンボ観察会

つながりを活かした保全活動

守山市河西学区との連携

- 守山市地域まるごと活性化のプランと連携してのトンボ観察会の開催
- 身近な自然観察を通じた環境学習



守山市河西学区内の公園や小学校のビオトープを活用してのトンボ観察会を2016年度から開始

The clipping is from the Asahi KASEI news letter, dated October 2016, regarding dragonfly observation activities. It includes a photo of people at a pond, text about the event, and a bar chart showing the number of dragonfly species observed.

【調べよう！ トンボが教えてくれる身近な自然の変化】

毎年8月に行われる「守山まつり」に、丁寧な手作業で、守山市内周辺に点在する池沼でトンボ調査も実施されています。これらについて、さくらの里公園で行われたイベントで、多くの参加者で賑わいました。守山市本部は池沼の生物多様性をオーブンでの調査では、池沼の水生生物や陸生生物についての内容で、幅広い世代が集まっています。

【迷路しようよって違う？ トンボのいる場所】

熱帯に石川みどりで開催された、各種団体のトンボ講習会を行いました。そして、隣接の守山城跡公園へ出でて、この公園で見られるトンボを観察することで、自然私たちが普段している公園の自然環境をより深く見てみることで、池沼の生物多様性を理解する機会となっています。守山市本部は池沼の生物多様性をオーブンでの調査では、池沼の水生生物や陸生生物についての内容で、幅広い世代が集まっています。

【大発見！ ? 準備減農耕種キロサエ】

守山市は農業で育んだトンボの育苗で、守山市農業振興課主催の「大発見！ ? 準備減農耕種キロサエ」が開催されました。池沼の生物多様性を保護するため、池沼の水生生物や陸生生物についての内容で、幅広い世代が集まっています。みんなで池沼の生物多様性では、こんな発見がありました！

News letter No.4 2016.10.01 沢田成（編）守山市本部 Asahi KASEI

ニュースレターによる活動報告と発信

つながりを活かした保全活動

しが生物多様性大賞受賞

【主催：滋賀県、滋賀経済同友会】



国連生物多様性の10年
日本委員会連携事業に認定

【事務局：環境省】



企業が中心となり地域の生物多様性保全活動に取り組む意義と将来性を評価された

トンボを象徴種に、生物多様性保全活動をつなぎ、促進させている生物多様性保全上高い効果を持つ取組として評価された

地域社会との共生を目指して

排水管理を含むRC活動と
水をテーマにした生物多様性保全活動を通じて、
地域社会との共生を実現

